

矯 味 剤

【貯法】

気密容器。

日本薬局方

【注意】

取扱い上の注意の項参照。

ハ チ ミ ツ
HONEY

日本標準商品分類番号

8 7 7 1 4 9

許 可 番 号	版薬第10839号
薬 価 収 載	19 年 月
販 売 開 始	1952年2月

【組成・性状】

1. 組 成

本品はハチミツの原液である。

2. 性 状

本品は淡黄色～淡黄褐色のシロップ様の液で、通例、透明であるが、しばしば結晶を生じて不透明となる。特異なおいがあり、味は甘い。

【効能又は効果】

口唇の亀裂・あれに用いる。また栄養剤、甘味剤、丸剤の結合剤として用いる。

【用法及び用量】

1. 口唇の亀裂・あれ

本品をそのまま塗布する。

2. 栄養剤、甘味剤

本品の適量をそのまま又は適宜薄めて使用する。

【有効成分に関する理化学的知見】

1. 一般名

ハチミツ

2. 成 分

本品はミツバチがその巣に集めた甘味物を採取したものであり、転化糖65～85%、ショ糖2～10%、水分10～12%、有機酸0.1～0.2%、含窒素物約0.3%、灰分0.1～0.35%で、有機酸はギ酸、クエン酸、リンゴ酸、乳酸が主体である。他にたん白質、色素、精油、花粉、酵素、鉱物質、ビタミンB群、アセチルコリン等を含む。

【取扱い上の注意】

白い粒状の固まりが瓶壁又は瓶底についたり、ときに内容物の一部又は大部分が固まることがあるが、糖分の結晶で品質に変わりない。このような時には、そのままあるいは温めて溶かして使用する。

【包 装】

500 g、1.2 kg、25 kg。

【主要文献】

第13改正日本薬局方解説書、第2部医薬品各条D-廣川書店。

【文献請求先】

タツミ薬品工業株式会社 学術情報部

〒 537-0013 大阪市東成区大今里南5丁目14番6号

【製造業者の名称及び住所】

製造発売元 タツミ薬品工業株式会社

大阪市東成区大今里南5丁目14番6号